

輸液ポンプ 一式

仕様書

令和6年11月

奈良県立医科大学附属病院

I 購入物品の名称及び数量

- ① 輸液ポンプ 30台

1 購入目的

奈良県立医科大学付属病院（以下、「当院」という。）において使用中の輸液ポンプの耐用期間超過の物品更新のため。

2 要求する性能

下記に示す性能を満たすこと、または、これと同等品以上とする。

① 輸液ポンプ

1. 出荷時の流量設定範囲は、実用と照らし合わせ 0.1～1200mL/h と十分である。
2. 流量精度が±5% 以内と高い。(指定の輸液セット及び輸血セットで水又は生理食塩水を使用した場合で 1.00mL/h 以上の一定流量にて、送液開始 1 時間以降の 1 時間ごとの精度 (周囲温度: 23±2°C))。
3. 96 時間連続送液で流量精度は 2±1% 程度の低下である。
4. 輸血用途に使用できる。
5. $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ モード、 $\text{mg}/\text{kg}/\text{h}$ モード、および薬剤ライブラリモードと多様なモードを使用可能。
6. 輸液セットを取り外した際のフリーフローを防止するアンチフリーフロー機能がある。
7. 重量は約 2.0kg と軽量で、複数台数を設置する場合もラックシステムを用いるため、電源のとりまわし、視認性にすぐれる。
8. AC/内蔵バッテリーの 2 電源方式。内蔵バッテリーにより輸液ポンプは 5 時間の連続駆動が可能。
(25mL/h での連続送液、周囲温度 25°C、新品バッテリー、満充電時)。
9. 約 3 時間で 80% の充電が可能である。(電源切状態で交流電源による充電時)
10. 内蔵バッテリーの充電量及び残量を 5 段階の液晶表示で表示するため、駆動時間の目安となる。
11. 視覚的に輸液セット装着を促す「ガイダンス機能」があるため、輸液セットの装着を確実に行う事ができ、フリーフローなどの発生リスクを軽減できる。
12. 設定ダイヤルを採用し、流量入力時に桁の間違いを起こし難く、簡単に設定ができる。
13. 閉塞圧モニタがラインの内圧レベルを 3 段階で色とアイコンを変えて表示し、早めに閉塞状況の確認ができる。
14. キーロック機能を装備する。
15. スタンバイ機能により、開始忘れ警報を 20 分に延長する事ができる。

16. 動作インジケータが注入、早送り等の動作中は緑の点滅で、警報状態は、赤の点滅で表示するので、ポンプの駆動状態が分かり易い。
17. ヒストリ機能により、動作異常が疑われる時など動作履歴の確認ができる。
18. 各種の警報・警告機能を備え、異常発生時に画面に大きく表示し、かつ動作インジケータ、警報ランプ、ブザーなどで知ることができるため、複数台使用時にも警報状態が識別しやすい。
19. 薬液の侵入を防ぐ構造で、防塵・防水性能は IP22 (防滴形) である。
20. 機器の分類は耐除細動形 CF 形装着部であり、除細動器との併用が可能である。
21. 各種のセルフチェック機能を備え、装置の異常を事前に発見ができる。
22. メンテナンスタイマ機能を備え、設定した期間を超過するとメンテナンス時期であることを表示する事ができる。
23. 消毒用エタノールで清掃できる。
24. 外部通信出力機能により通信ラックシステムを経由し、医療用モニタへのポンプの動作状況を出力できる。
25. 本体に無線 LAN モジュールを内蔵し、将来の無線化への対応を視野に入れられる。
26. 3連、6連、9連のラックシステムにより電源を集約する事が可能。
27. 通信対応ラックを用いる事で、上記 24. に加え通信ケーブルの集約も可能。
28. 通信プロトコルおよび、通信手段が充実しており、情報システム等との接続時に十分な機能をもつ。
29. 薬剤名、投与単位をプリセットし、かつ上限値を設定できる、「薬剤ライブラリ」をもつ。
30. 厚生労働省医薬局長通知 (医薬発第 0318001 号) 「輸液ポンプ等に関する医療事故防止対策について」に適合している。
31. IEC60601-1:2005/Amd. 1:2012 に適合している。
32. IEC60601-2-24:2012 に適合していること。
33. 全国に支店・出張所があり、アフターサービスが万全である。